

平成30年 5月22日

香川大学全学共通科目で模擬選挙を実施します

香川大学では、平成29年度より全学共通科目（教養教育科目）において、主権者教育に主眼を置いた「私たち（主権者）と公共・代表」を開講しています。この科目は、公共的な課題について協働的に議論を行うことや、国や地方自治体の代表者を選ぶことの意義や責任について考えることを目的としていますが、その一環として、昨年、実施された衆議院議員総選挙を題材とし、政党に対する投票を行う模擬選挙を実施します。

【模擬選挙の概要】

日時 5月29日（火）10:30~12:00

会場 教育学部 421 番教室（幸町北4号館 2F）

実施方法

- ・ 高松市選挙管理委員会事務局の協力の下、2017年衆議院議員総選挙を題材として、「比例代表区」で「政党」に投票する想定で実施します。
- ・ 受講者は、事前に配布された主要政党の代表的な政策分野における立場をまとめた資料を閲覧した上で投票に臨みます。
- ・ 高松市選管事務局による選挙学習講義の後、投票および開票を行います。
- ・ 選挙管理や開票といった業務も受講者が担当します。

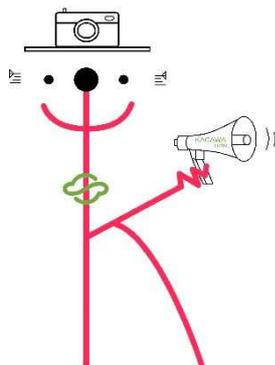
【「私たち（主権者）と公共・代表」の受講者について】

受講者数 60名

学年 おもに1年次生

学部構成 法学部 36名、経済学部 13名、創造工学部 5名、農学部 4名、医学部 2名

男女比 男 34名、女 26名



➤ お問い合わせ先

香川大学 法学部 教授 堤 英敬

TEL : 087-832-1745

E-mail : tsutsumi@jl.kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合 香川大学 修学支援グループ 白川

TEL : 087-832-1153

E-mail : sogaksen@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

[資料]

香川大学・全学共通科目「私たち（主権者）と公共・代表」について
(シラバスより抜粋)

【授業の概要】

この授業の前半では、今日の社会問題（雇用に関する問題と男女共同参画に関する問題）についてグループで議論し、それを解決するための政策立案を行います。世の中に存在する社会問題をめぐっては様々な価値観や考え方がありますが、それらをお互いに理解し、違いを認めた上で、多面的な観点から思考するとともに、合意形成の方向性を探っていきます。後半では、私たちの意思が政策の決定に土曜に繋がっていくのかを、模擬投票を通じて学びます。

【授業の目的】

国や地方自治体の活動や、地域や社会における様々な課題（「公共的課題」）が「私たち（主権者）」の生活とどう関わっているのかを考え、議論するなかで、政策を決定し実施する国や地方自治体の代表者（「代表」）を選ぶことの意義、ひいては主権者としての意識の醸成とその責任について考えることが、この授業の目的です。

【授業スケジュール】

- 4/10 ガイダンス：授業の進め方、代表制民主主義の基本的なしくみ
- 4/17 現代の公共的課題：男女共同参画問題／雇用問題の学習
- 4/24 グループ討議：問題の論点整理
- 5/8 グループ討議：問題の現状把握
- 5/15 グループ討議：課題に対する政策立案
- 5/22 政策発表・グループ討論会
- 5/29 選挙に関する学習と模擬選挙
- 6/6 模擬選挙に関する意見交換